

原別地域
まちづくりを進める会



原別まちづくり計画

～地域計画の概要～

- 目的 原別地域に住む私たちが、元氣よく主体性を持って暮らすための取組方針であり、地域のことは地域で考えて決定し、実行するための仕組みづくりをすること。
- 期間 令和5年度から令和9年度の5年間
- 区域 東部第二区連合町会区域（概ね原別小学校区）
- 主体 原別地域まちづくりを進める会
- 方法 住民参加型共同作業方式（ワークショップ方式）



クリーンアップ大作戦の様子

■背景 人口減少や少子高齢化などの社会現象は、原別地域においても進んでいます。それは、地域における助け合いや支え合い、連帯感や一体感などの低下をもたらし、「地域力」が減少する要因ともなっています。地域で元気に安心して暮らすためには、地域コミュニティの活性化が求められています。

■目的 原別地域に住む私たちが、元氣よく主体性をもって暮らすための取組みの指針であり、地域のことは地域で考えて決定し、実行するための仕組みづくりを目的としています。

2. 地域の社会的状況

■人口と世帯数の変動 平成29年度～令和4年度までの10年間で、原別地域全体の人口は約920人減少し、世帯数は約88世帯増加しています。また、世帯当たり人員は23人から20人に減少しています。



■人口と世帯数の変動 下の図に示すように、65歳以上の人口は35.8%と高齢化が進んでいます。（青森市全体では32.2%）少子高齢化社会の中で、あらためて地域のコミュニティのあり方の検討が必要です。



避難所運営訓練の様子

3. 地域の特徴

■地域の拠点 県立高校の最寄駅である矢田前駅と、北側の旧国道4号沿道が旧原別村の中心地区です。地域住民の文化・教養の向上、健康の増進、地域振興や交流の場として親しまれている東部市民センターもこの中心地区にあります。また、国道4号バイパスの本泉跨線橋西側のショッピングセンター付近から跨線橋東側にかけては地域の中心となる商業施設や金融機関が立地しています。

■特色ある施設や自然など 桑原にある青龍寺の昭和八仏、1375年頃に北畠(きたはたけ)顕能(あきよし)が建立したと伝えられる原別稲荷神社、地域に豊富な地下水を供給する原別取水井、地域との交流を積極的に進める青森東高等学校、毎年避難所運営訓練を続ける東中学校など、原別地区には様々な施設があります。また、遊歩道公園が整備、サケの産卵場でもある野内川、付近住民に親しまれる稲山などの自然にも恵まれています。



原別稲荷神社



野内川

稲山

4. 地域課題の整理

■課題 総合的なまちづくり課題として、地域のみなさんから下記の意見が出されました。

- 海・山・川の自然と水を生かしたまちづくりが必要**
- 野内川の河川敷が整備されているのでもっと活用すべき
 - 海・山の幸や田・畑の幸を一堂に集めて、地域製品の販売
 - 水芭蕉をきれいに残していく工夫を考える
 - ウォーキングコースの整備が必要
 - 稲山の調査・整備

- 防災を考えた地域コミュニティづくりが必要**
- 地域の防災の拠点、避難所の運営
 - 学校と地域のつながりが大切
 - 防災教育→大人→親・子どもとつなげていく
 - 防災キャンプや防災訓練を地域のイベントとすべき
 - 空き家の増加
 - ひとり暮らしの高齢者が増加、支援が必要

- 地域再発見マップをつくり地域の活性化が必要**
- 歴史・文化・史跡など、地域を学ぶ
 - 伝統（獅子舞、神楽、祭り、しめ縄など）の継承・伝承
 - 子どもと地域住民の交流が少ない
 - 原別の地域情報をネットを活用して地域情報を発信する
 - 三世代交流が少なくなっている
 - 子ども達の居場所が少ない

地域の課題を解決し、地域の特徴を生かすためには？

地域として何が必要か・何をすべきか・何ができるか

「良いところを大切に、課題が解決されたとき、私たちの地域はどのように変わっているのか？」を、地域計画のテーマ（スローガン）として設定し、3つの大きな項目からなる地域計画を策定しました。

みんなで住みよい楽しいまち

（“わ”も“な”もあずまいまち）

計画のテーマ

1. 地域の絆 花香の水のまち原別

- (1) 地域の歴史や文化を伝えるまち
- 地域の歴史や文化コースを歩き、資源を再発見、マップを作る
 - 子どもたちに歴史・文化を伝えるための機会を作る
 - 地域を学ぶハイキングやウォーキングなどコースを設定する
 - しめ縄・もちつき（鏡もち）正月の伝統を守る
- (2) 水のまち
- 原別稲荷神社の水芭蕉をPRする

2. 自然と文化を楽しむ地域参画のまち原別

- (1) 海・山・川の自然を生かした地域交流
- 11の町会合同で大収穫祭を開催する
 - 産直やフリーマーケットを地域のイベントに合わせて企画する
 - 野内川の利活用（河川敷で芋煮会など）
- (2) スポーツ・レクリエーションの交流
- 東岳登山・稲山ハイキング
- (3) 地域参画の取り組み
- 地域のホームページ作成やブログ・SNS等を利用して情報発信をする

3. 手をつなぎ関わりあえるみんなのまち

- (1) 地域の安全・安心
- 稲山公園の整備
 - 空き家対策
- (2) 防災対策
- 学校・地域合同の避難所運営訓練や防災教育を実施し自主防災の推進を図る
 - 家族で防災について話し合う場を設けるなど防災意識を高める
- (3) 子供の見守りと高齢者対策
- 子供たちの「見守り」体制を拡充する
 - 学校と地域との連携（見守り運動など）の第1歩としてあいさつ運動を推進する
 - 高齢者の支援や認知症予防のためのセミナーを企画する
 - 子供達向け認知症セミナーを企画する
 - 介護予防ヨガの実施
 - 高齢者の集いの場づくり
 - 子供の居場所づくり、学習支援